

福祉のまちづくり

みなさんの ハート重なり 地域福祉

“お互いさまのまちづくり”

第156号

平成24年 2月 1日



『買い物弱者』を支援

JA移動購買車

JA大北による『移動購買車』が八坂地区を走っている。

歴史は古く、おおよそ40年前から運行しており、中山間地の集落に住む住民の生活の利便を図ってきた。

火曜日から金曜日の週4回運行しており、曜日によって決まったコースを巡回して約90の方が利用している。

この日は、相川地区へ。塚田さんご夫婦と縣さんご家族がお買い物。“毎週末来てくれて、助かるよ。家によっては、玄関先まで届けてもらうこともしばしば。この購買車がないと、生活が困難だ”との声がある。買い物のあとは、ご近所話に花が咲いていた。

移動購買車は、近隣住民の貴重なコミュニケーションの場や一人暮らしの方の安否確認の機能としての役割も担っている。

1月17日

主な内容は

- ・井戸端会議報告
- ・地域での取り組み
～買い物弱者への取り組み～
～災害に備える取り組み～
- ・赤い羽根共同募金
ご協力ありがとうございました
- ・心配ごと相談日程
- ・各種研修会のお知らせ

ほか

井戸端会議を開催しました

第2次地域福祉活動計画

「こんなまちにしたいな!私たちの住むところ」をテーマに、12月12日から20日の間、市内6地区で「井戸端会議」を開催し、133人のご参加をいただきました。

「身近な困りごと」について、さまざまな意見が出され、これからの「福祉のまちづくり」を考える機会となりました。



大町地区

井戸端会議に参加して



危機感をもって人口増対策を

社曾根原 降幡 順治さん
計画づくりよりも具体的に何を
するかが重要。会議での話題は今
に始まったことではない。行政も社協も危機感も
って、人口増の取り組みを。自治会未加入者の
意見も聞き反映を。定年後は食の安全と若者の就
労支援につながる農業振興に取り組みたい。



気兼ねなくお願いし合える地域に

常盤上一 永田 きみ子さん
地域の皆さんと話すことが楽し
く、同じ思いを持った方がいてう
れしかった。隣近所で困りごとがあったら、でき
ることはしようと思う。本当に困っている人ほど
「助けて」や「お願い」が言えないのだと分かっ
た。気兼ねなくお願いし合える地域になれば。



あいさつが交わせる地域に

平借馬団地 秋田 壽夫さん
立場や地域を越えての参加者が
あった。他の自治会の苦労話を聞
くことができた。隣近所の人間関係が希薄化して
いる。あいさつをしたら当たり前のように返して
くれる。そんな当たり前の取り組みから始めるこ
とが大事だと思う。



都会にはない地域の魅力を

八坂一の瀬 勝野 功さん
跡取りが出ていき、年寄りだけ
になっている。何とか新しい風を
取り入れて地域が元気になれば。八坂は八坂、都
会は都会。それぞれが役割分担し、都会ではでき
ないこの土地のいいものを伸ばすことができた
らいいが。



話し合う場づくりが必要

美麻青貝 伊藤 敏子さん
こんな機会に、みんなで話す
いろいろな意見が聞けて楽しか
った。もっとたくさんの人と話す必要があると感じ
た。住民同士の顔がもっと見える場づくりが必
要。人と人のつながりで地域を元気にできたら
いいですね。



困りごとを把握することが大事

大原町 竹村 清さん
井戸端会議らしい身近な話が
できた。移動困難者や若者の就職、未
婚問題などさまざまな困りごとが出された。ただ、困
りごとの解決策や方向性までの話はできなかった。
このような困りごとを抱えている方がどのくらい
いるのかを把握することも大事だと思う。

井戸端会議の意見から

「地域活動の担い手不足」、「近所付き合いの希薄化」、「要援護者の情報不足」、「未婚者の増加」、「買い物弱者の存在」、「子どもの遊び場不足」などの課題が浮かび上がってきました。

これらの課題を、住民個々の取り組み（自助）、住民相互の取り組み（互助）、公的サービスの取り組み（公助）として整理し、計画に反映させていきます。

現状と課題

地域活動

- 自治会や各団体の役員が高齢化し、後継者が不足している。
- 地域の行事や会議が多く、役員の負担が増えている。
- 地域活動への理解不足や若者の減少により、消防団や祭りなどの地域活動への参加者が減っている。



近所付き合い

- 自治会に入らない、または抜けてしまう人が増えている。
- 新興住宅や別荘地に住む人などで、顔も知らない人がいる。
- 子どもからお年寄りまで気軽に集まって話せる場所がなく、隣近所との行き来も減っている。



高齢者・障がい者

- 一人暮らしの高齢者や障がい者の情報が少ないが、個人情報やプライバシーの問題があり、積極的に行動できない。
- 高齢者の一人暮らしや老老介護の世帯が増え、中には閉じこもりがちな人もいます。
- 介護をしている人の気持ちや認知症の方との接し方がわからない。



未婚・少子化

- 出会いの機会が少なく、結婚しない若者が増えている。
- 地区内に子どもが少なくなり、PTAの運営にも支障が出ている。



子育て

- 子どもがいつでも集まれるような公園などの遊び場が少ない。
- 子どもの遊びはゲームが主流となり、屋外で遊ぶ姿が見られず、子ども同士の関係づくりが心配。



買い物

- 近くの商店が閉店し、買い物に困っているが、移動販売もなく、高齢者にはカタログ販売も難しい。
- 高齢になると歩いてバス停まで出られず、買い物や通院に困っている。



その他

- ごみのポイ捨てや犬のフンなど、マナーの悪い人がいる。
- 鳥獣の害で人が住みにくい。
- 廃虚となった空き家や荒れた田畑が増えている。
- 農業の後継者が育たない。農業法人もこの先難しいのではないか。

井戸端会議より

～「買い物弱者」への支援～

八百屋さんと魚屋さんが宅配サービスを開始しました

市内不採算店舗の閉鎖により、食料品など日用品の買い物が困難な「買い物弱者」を支援するため大町青果小売商組合と大町魚商組合では宅配サービスを始めました。

この日は、『吉沢青果』さんが宅配をしていました。『以前から希望者には自宅まで届けていました』『今日は、毎週利用してくれるお宅への配達です』とー。



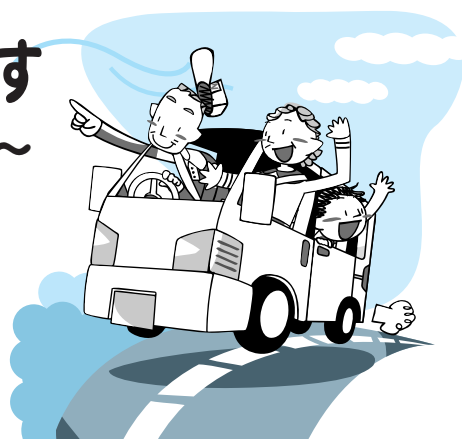
大新田町にお住まいの丸山さんは、「だいぶ前から利用しており、今でも週に1回頼んでいます。車もないのでとても助かります」と話していました。

高齢者の一人暮らし世帯や高齢者世帯がますます増えてくると思われます。コミュニケーションを大事にする小売店のフットワークを生かした支援活動をしたいと会員らは話していました。

「買い物ツアー」に取り組んでいます ～美麻地区社協～

地元で大型店舗などが少なく、住民からは「買い物が不便だ」との声が寄せられていました。

同地区社協は、そんな皆さんの声に応えるために「買い物ツアー」を企画、実施しています。希望者を募り、近隣の大型店へ毎月第3金曜日に送迎バスを走らせています。



もうじき95歳になる伊藤さんは、「親戚やヘルパーに買い物を頼んでいるが、月に1度自分で選んで欲しいものが買えることがうれしい」と話していました。

このツアーは、買い物の不便さを解消するだけでなく、参加者相互の交流や高齢者の閉じこもり予防にも効果を発揮しています。

これからも利用者のニーズを聞きながら、継続して取り組みをしていきます。

災害時住民支え合いマップ



ご近所の 助け合いが 大事ー

桜田町自治会
森島 令至さん

東日本大震災の教訓から、災害が発生した場合、このままではいけないとの思いから取り組みが始まった。

自治会役員を中心に、どんなマップを作ればいいか話し合った。チラシをつくり隣組長協力の下、一軒ずつ同意を取り、マップに落とし込みをした。何かあったときは隣近所の助け合いや絆が大事。作成したマップが安心の糧となるよう継続しての取り組みをしたい。



若い世代を 中心にー

九日町自治会
奥村 健仁さん

お年寄りが増え、地域での支え合いが求められている。若い世代が少なく、いざというときにどうするのかとの思いからマップづくりが始まった。

災害時、中心となる若い世代を中心に組み込んだ。まだ途中の段階であるが、マップづくりに合わせて、丁目ごとの一次避難所を設定し、町内に周知した。これから、どんな情報を皆で共有していくのかを話し合う予定。

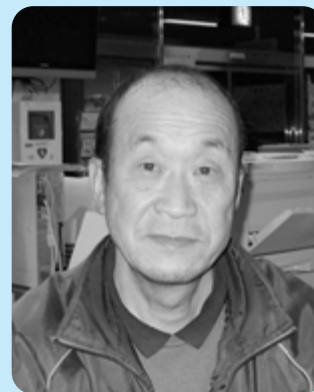


地域を良くする ための話し合い が大事ー

館ノ内自治会
西澤 運之さん
(仁科2組)

小地域福祉ネットワークの活動の中で、一人暮らしの方を近隣で支え合いながら生活していることを知った。その支え合いを地区に広げたいことや、東日本大震災をきっかけにマップづくりが始まった。

容易に事が運ぶか心配したが、快く協力していただき地区の皆さんに感謝している。マップづくりを通じて、住民同士で地域を良くするための話し合いをすることの大切さを感じた。



地域のことを 再確認 したかったー

八坂地域づくり協議会・健康福祉環境部長
竹村 信吉さん

災害時には、隣近所の支え合いが大事。地域のことを再確認する必要があり、マップづくりが始まった。

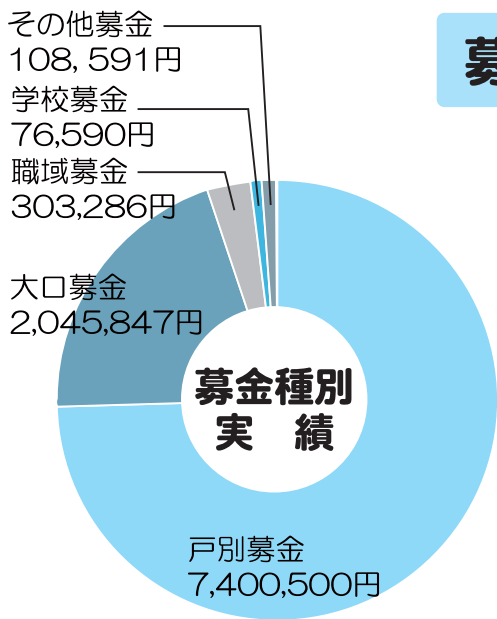
一軒ずつ伺い、同意を取って情報収集した。地区自治振興会役員の方には協力をいただきありがとうございました。災害時、助けが必要な方を誰が助けるのかをマップに記していきたい。



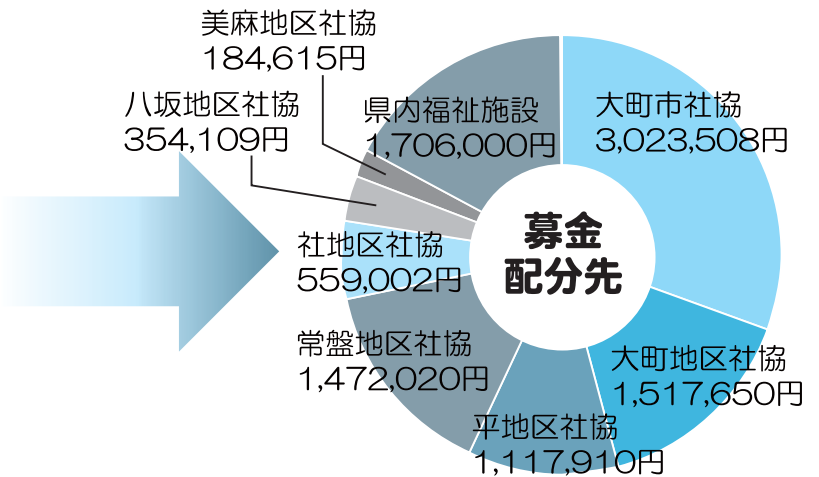
平成23年度赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました。

昨年10月から12月末までの3カ月間実施しました『平成23年度赤い羽根共同募金運動』は市民の皆様の善意とご協力により、無事終了することができました。

厳しい経済事情の中、快くご協力いただいた大口寄付者の皆さんや、自治会を始め学校や職場、その他大勢の皆様にご協力いただき感謝と御礼を申し上げます。



募金総額 993万4千円 (9,934,814円)



ご協力いただいた共同募金は平成24年度、市社協や地区社協が行う地域福祉事業に活用させていただきます。



活用事例

大町地区社協

障がい者レクリエーション交流会



おはぎを作って会食会

地区内の障がいのある方を対象に、レクリエーション交流会を開催して、互いに交流を深めています。

市民ふれあい広場実行委員会

2011市民ふれあい広場



さまざまな分野の団体が協働で開催している市民ふれあい広場。

大勢の皆さんに会場いただきありがとうございました。

美麻地区社協

一人暮らしの皆さん集まろう会



一人暮らしの方を対象に日帰り旅行を実施。

昨年は、NHKドラマ『おひさま』の撮影場所の見学や、おひさま御前を味わいました。

事前予約にご協力ください。 ☎ 22-1501 (大町市)

大北地域心配ごと相談日程 2月・3月

2月	開催日	時間	相談内容	担当者	場所	開催者・連絡先
	2月6日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士			
2月13日(月)	15:00~17:00	法律相談	弁護士			
2月20日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員			
	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士			
2月27日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員			
2月24日(金)	13:00~15:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	八坂支所	八坂地域福祉センター ☎26-2100	
2月14日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544	
2月28日(火)						
2月1日(水)	13:00~15:00	生活相談 子育て相談	民生委員 児童委員	ゆうあい館	松川村社協☎62-9000	
3月	3月5日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	3月12日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
	3月26日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	3月23日(金)	13:00~15:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	美麻総合福祉センター	美麻地域福祉センター ☎29-2341
	3月13日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
	3月27日(火)					
	3月7日(水)	13:00~15:00	生活相談 人権擁護	民生委員 人権擁護委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000
	3月13日(火)	13:00~15:00	心配ごと相談	司法書士 人権擁護委員 民生児童委員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-5000
3月7日(水)	13:30~16:00	心配ごと相談	司法書士 民生委員	小谷村開発 センター	小谷村社協 ☎82-2430	

◎お気軽にご相談ください。
このほか、【常設相談】土日
祝日を除き毎日受け付け
ています。 ☎22-1501

★電話相談 どんな悩みごともお気軽にどうぞ。

★日常生活自立支援 障がい者・高齢者の方で、ご自分で判断することが難しく、
日常生活や財産管理についてお困りの方。

★ボランティアセンター(社協内) ボランティアについての相談。

弁護士による 無料法律相談と健康相談開催 ～くらしと健康の相談会～

弁護士による無料法律相談と、保健師による健康
相談を行う相談会を開催します。

- 日時 3月5日・12日・19日・26日
いずれも月曜日 午前10時～午後3時まで
- 会場 大町市保健福祉事務所(大町合同庁舎内)
- 定員 各日 4人(相談時間は1人1時間程度)
- 申込み 予約制ですので、事前にお電話でお申込み
ください。

※開催日の4日前まで予約を受付ます。

TEL23-6526 大町保健福祉事務所

ふれあいの窓

H23.11.16～H24.1.15(敬称略)

善意の寄附をありがとうございます

【現金】七倉荘ふれあいの箱…7,338円、降幡芳夫…
50,000円、大町市老人クラブ連合会…150,000円、大
町市食生活改善推進協議会…2,000円、匿名3,000円、
匿名4,755円

【物品】あさひ会…タオル・清拭布多数、カクヨ洋品店
…下着・衣類多数、降旗 章…りんご20箱、信光実業
㈱大町支店…カレンダー19本、ライスファーム野口
(有)…大根・ねぎ多数、(社)大北法人会大町支部…
車いす4台

【使用済切手 多数】倉品組㈱、七倉荘、匿名

研修会参加者募集!!

第24回大町市ボランティア 交流研究集会

- 期日 2月11日(土) 13:00~16:00
- 場所 サン・アルプス大町2階大会議室
- 演奏
影武者によるシンセサイザーコンサート
- 講演
テーマ「地域を笑顔で元気にしよう」
講師 ころろ元気研究所 鎌田 敏氏
- 参加費 無料
☆当日は、要約筆記があります。
- 申込 2月3日(金)までに
大町市社協(TEL22-1501)へ

第18回大町市 ボランティアリーダー研修会

- 期日 3月8日(木) 9:00~12:00
- 場所 大町公民館分室 2階講堂
- 内容
テーマ「身近なものでつくって遊ぼう!」
講師 レクリエーションインストラクター
種山 正子氏
- 持ち物 カッターナイフ、
2ℓのペットボトル(固いもの)
- 参加費 無料
- 申込 2月29日(水)までに
大町市社協(TEL22-1501)へ



お知らせ ハートピア仁科の里

総合福祉センター “ハートピア仁科の里” 公衆浴場 親子ふれあいキャンペーン

- 期間 12月31日まで
- 内容 子ども料金200円のところ
ご家族利用時“無料”
- ポイントを貯めて景品ゲット!!
公衆浴場利用ごとにポイントが貯まります。
無料入浴券のほか石けんなどの景品と交換
できます。



お子様用サークルをご利用ください!!

ご利用者からの声により、3階ホールにお
子様用サークルを設置しました。
館内利用に限り、貸出もできます。
是非ご利用ください。



障害福祉サービス事業所コーナー

すずらんでは、藍染や草木染の布で作った
頭巾を販売しています。

かぶるだけで、三角巾のようになりとても
便利でおしゃれです。

柄は、利用者手書きによるものでリバーシ
ブルタイプのものなどいろいろあります。



値段は420円~1,050円
かぶるとこんな感じです!→



「福祉のまちづくり」へのご意見、ご希望、投稿などみなさんの声をお寄せください。

〒398-0002 大町市大町1129 大町市総合福祉センター内

編集・発行；社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

URL <http://www.omachishakyo.org/> E-mail soumu@omachishakyo.or.jp